

Global Practice Analysis 2012

世界におけるアスレティックトレーナーの実態調査

(日本体育協会公認アスレティックトレーナー【JASA-AT】)

公益財団法人 日本体育協会

調査期間：

2011年11月24日～2012年1月31日

調査対象

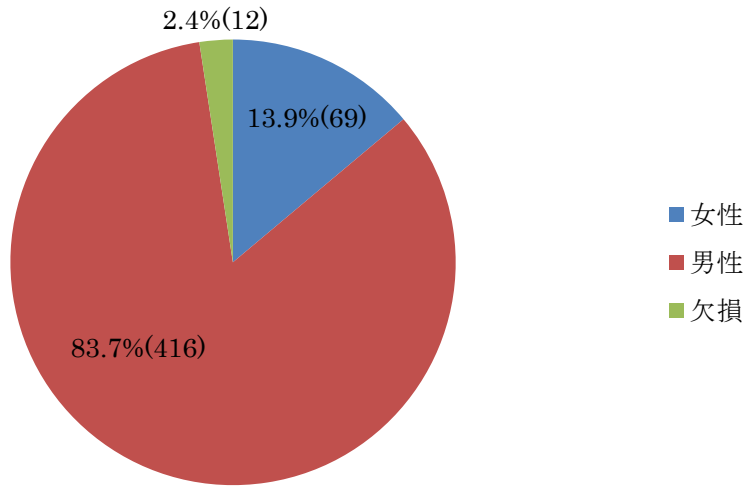
日本体育協会公認アスレティックトレーナー 1606名

回収率

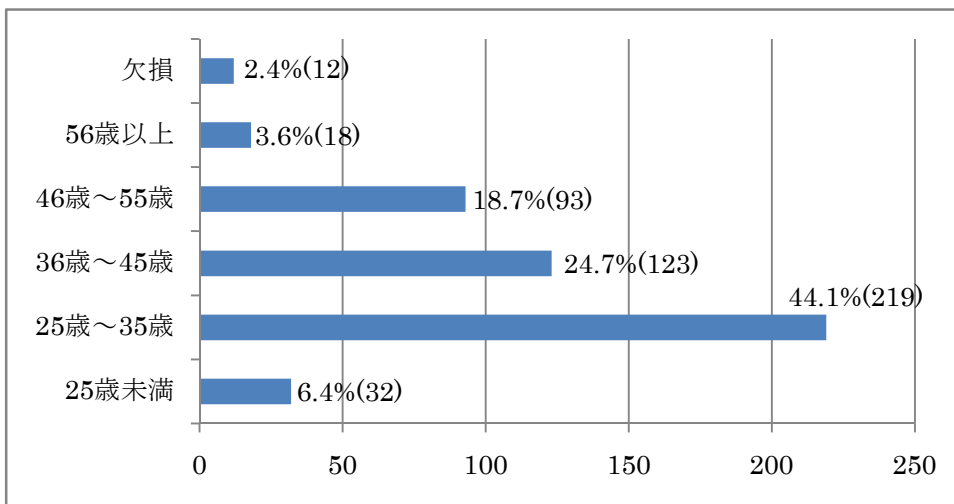
30.9% (1606名中 497名)

JASA AT 基礎情報

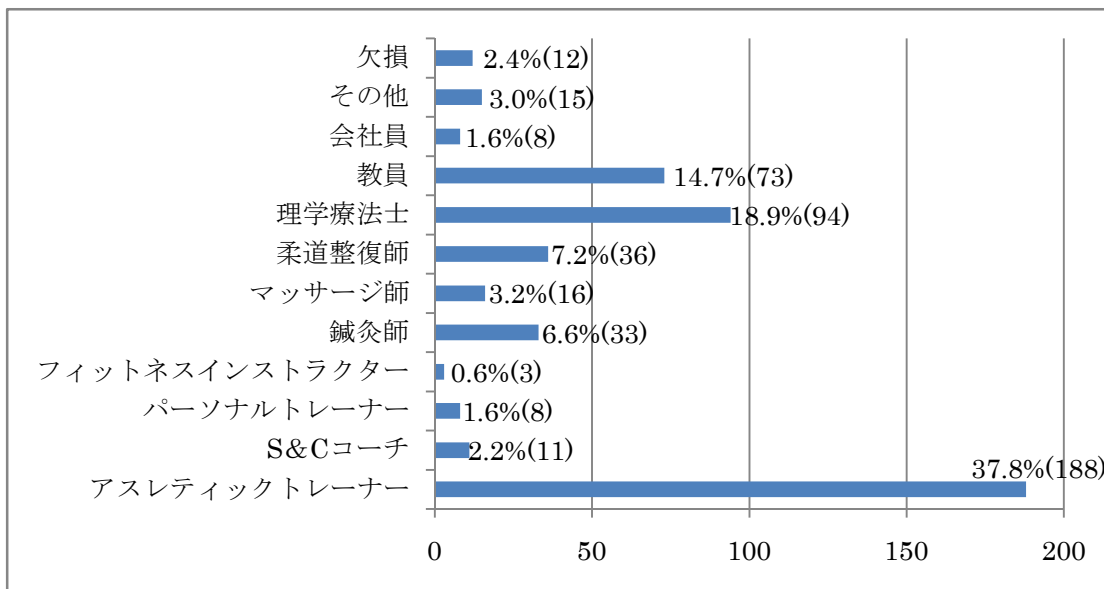
性別



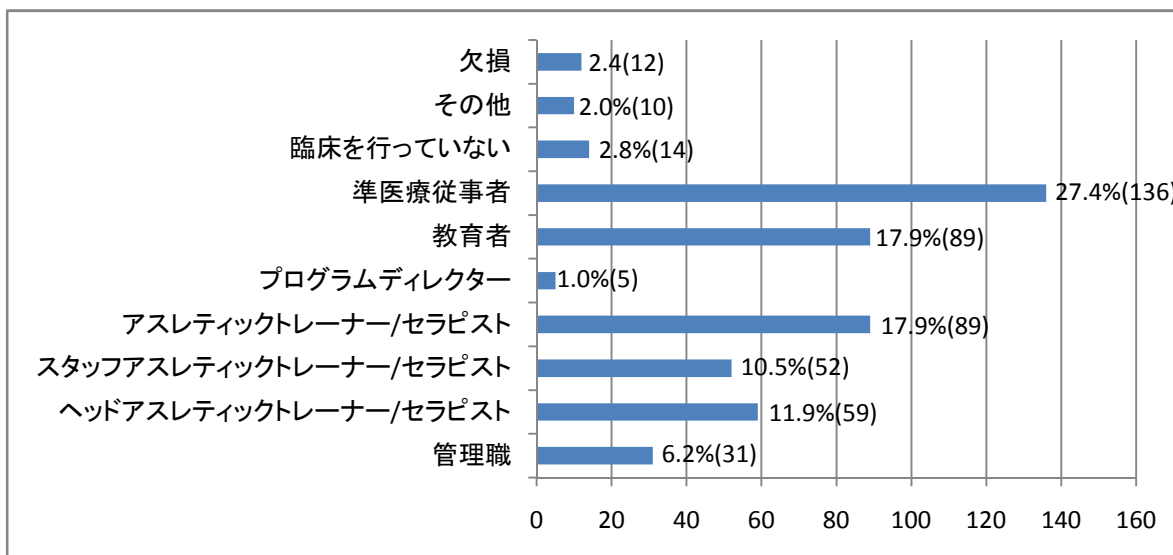
年齢



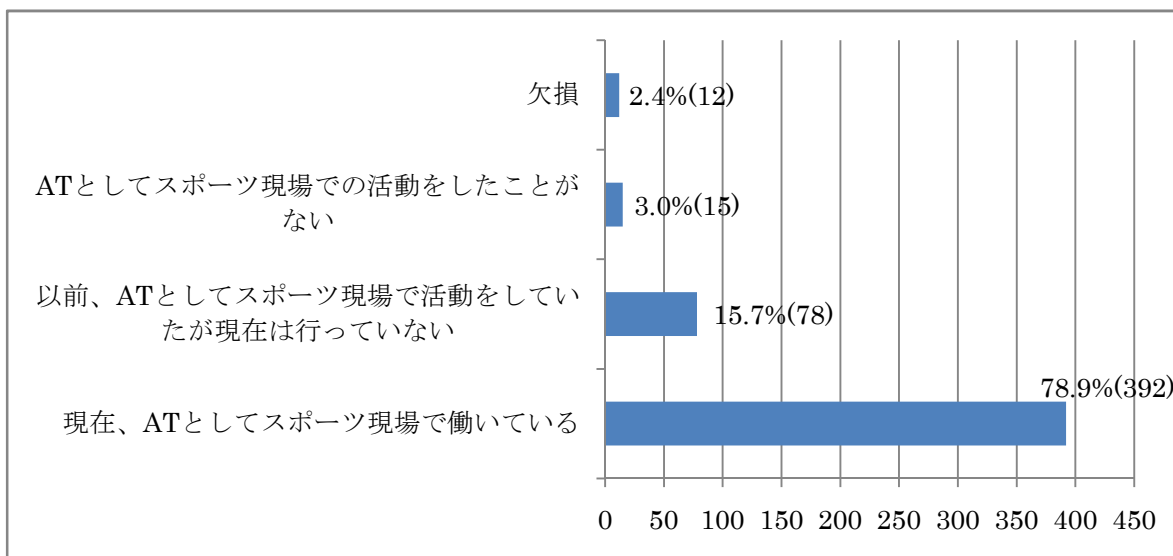
あなたの職業の名称のうち、最も近いものはどれですか？



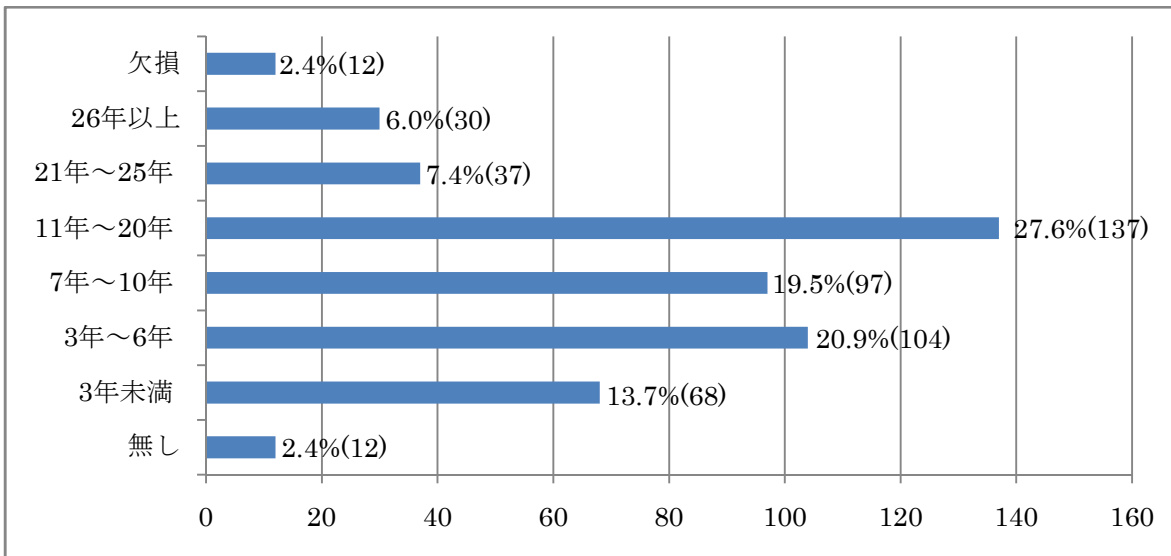
以下のうちあなたの役職として一番近いものを選んでください。



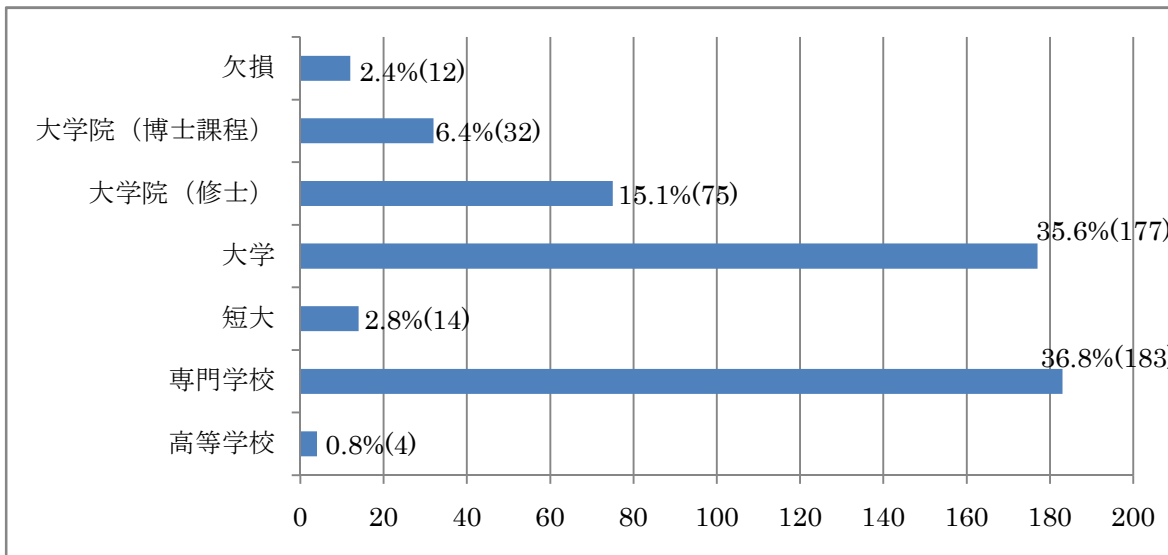
ATとしての活動（有償・無償を含む）



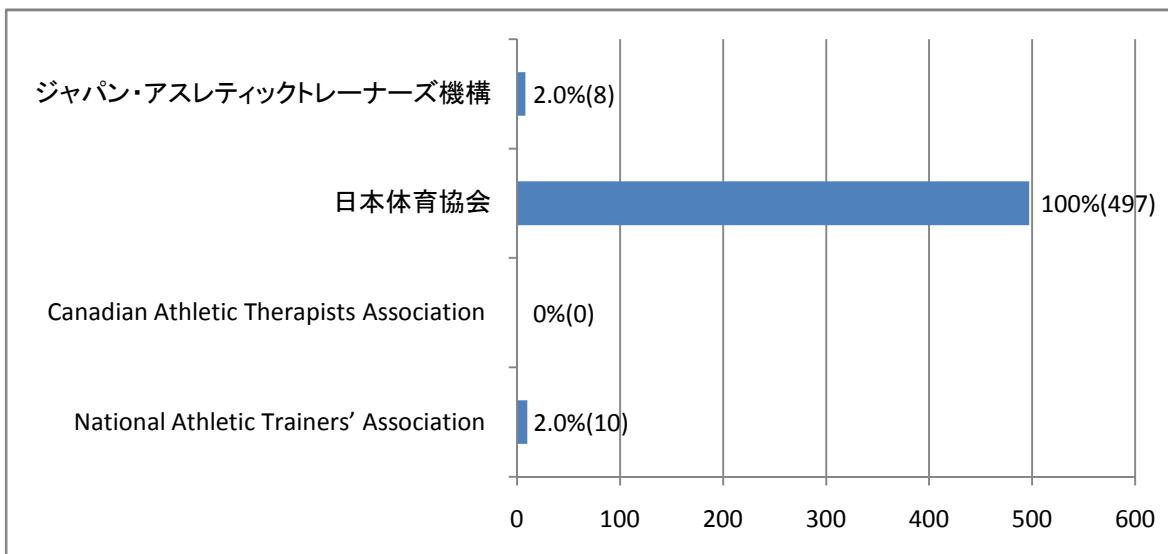
トレーナーとしての経験年数はどの位ですか（学生トレーナーとしての経験は含まず）



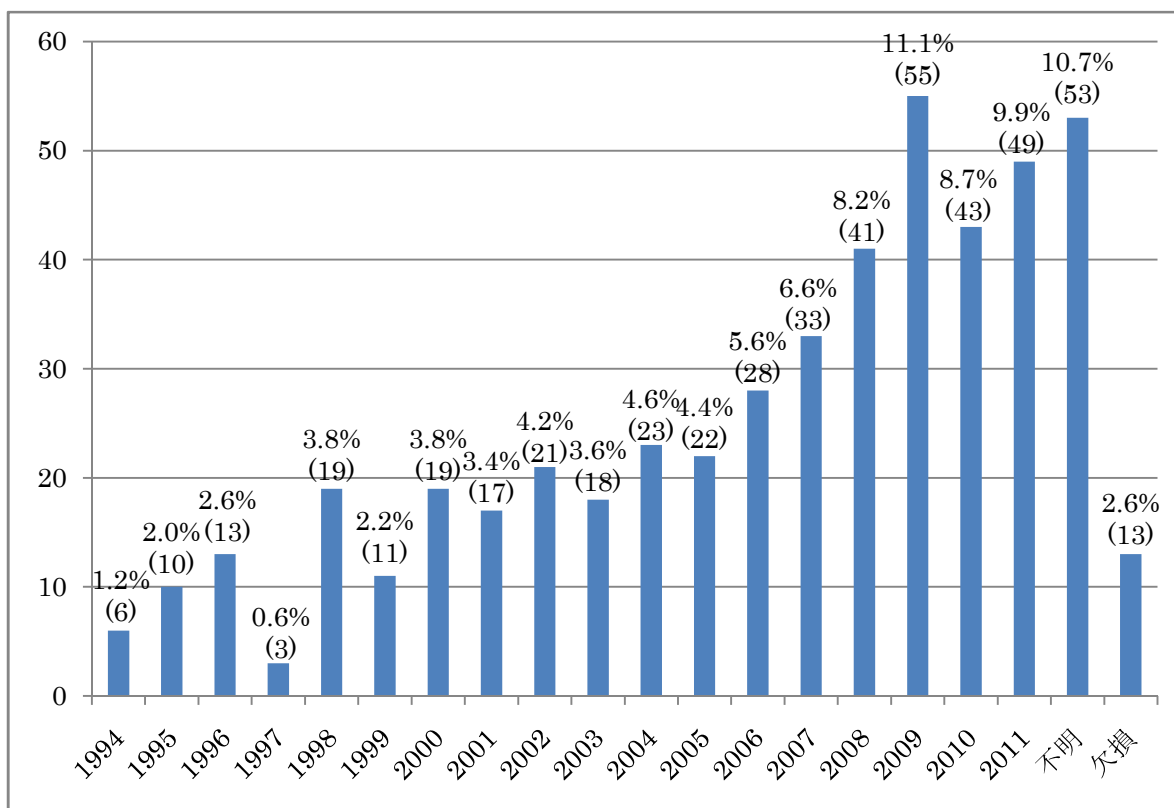
最終学歴レベルは以下のうちどれですか？



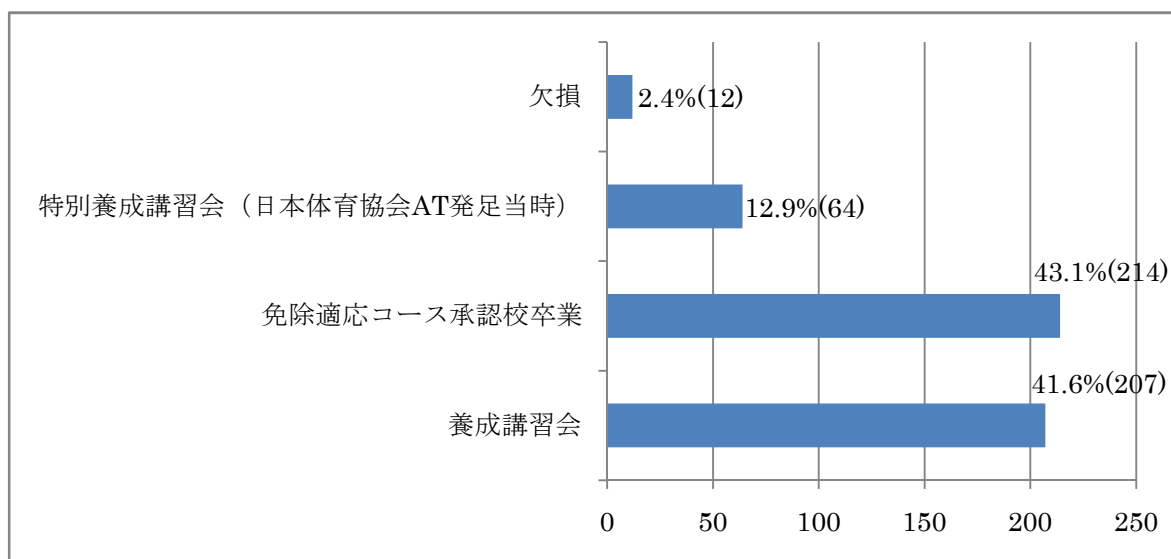
あなたの所属する職業団体は以下のうちどれですか？



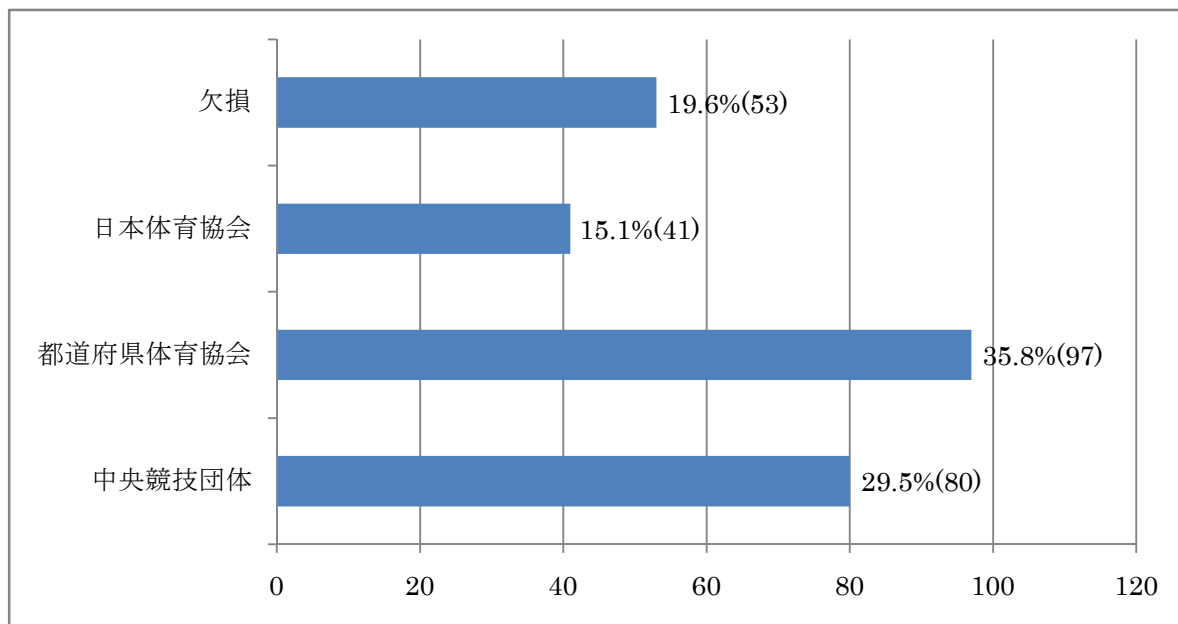
日本体育協会公認アスレティックトレーナー（以下、JASA-AT）を取得された年はいつですか？



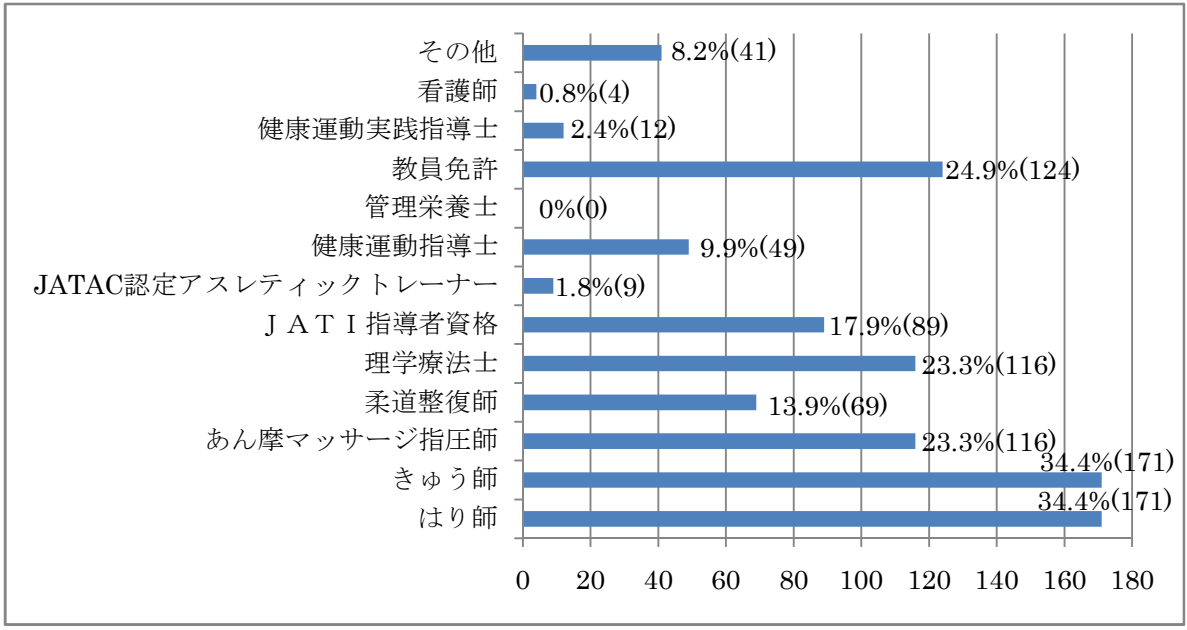
JASA-AT の取得方法は以下のうちどれですか？



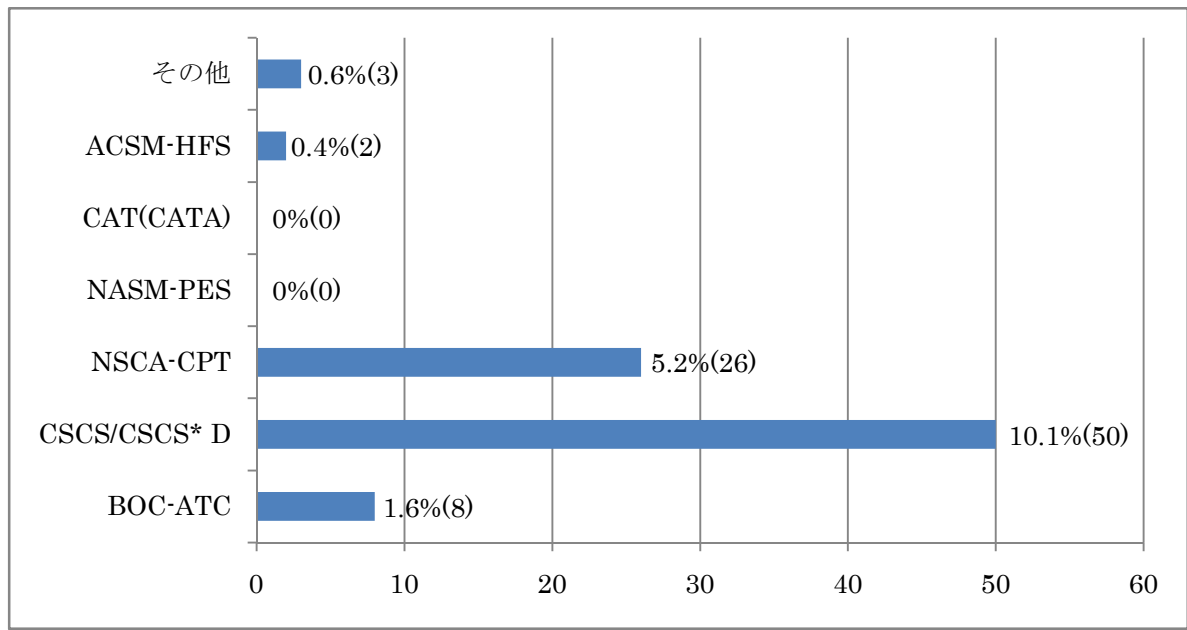
養成講習会を受けられた方は推薦団体を下記に記してください。(オプション)



日体協公認アスレティックトレーナーの資格以外にお持ちの資格について印をつけてください（複数選択可）。
お持ちでない場合は記入しないで下さい。（国内資格）



日体協公認アスレティックトレーナーの資格以外にお持ちの資格に印をつけてください（複数選択可）。お持ちでない場合は記入しないでください。（国外資格）

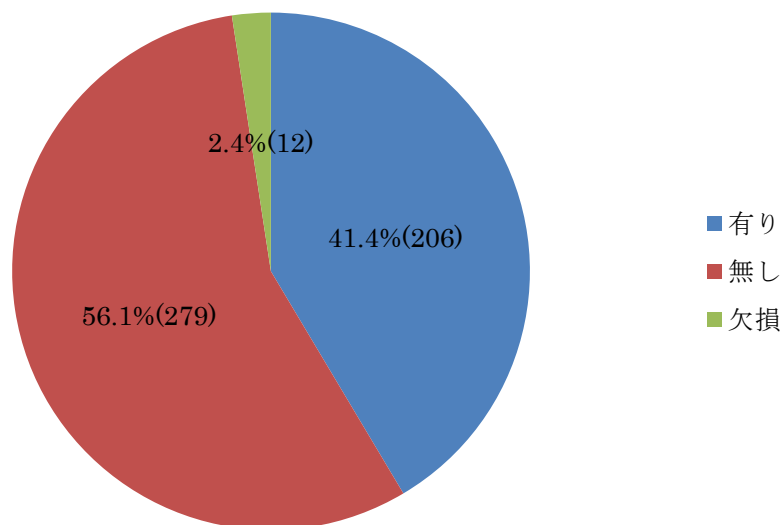


- 現在居住している都道府県を以下に記入してください。
- 現在、ATとして日本体育協会に登録している都道府県を以下に記入してください。
- 現在活動をしている、または主たるATの活動拠点のある都道府県を以下に記入してください。

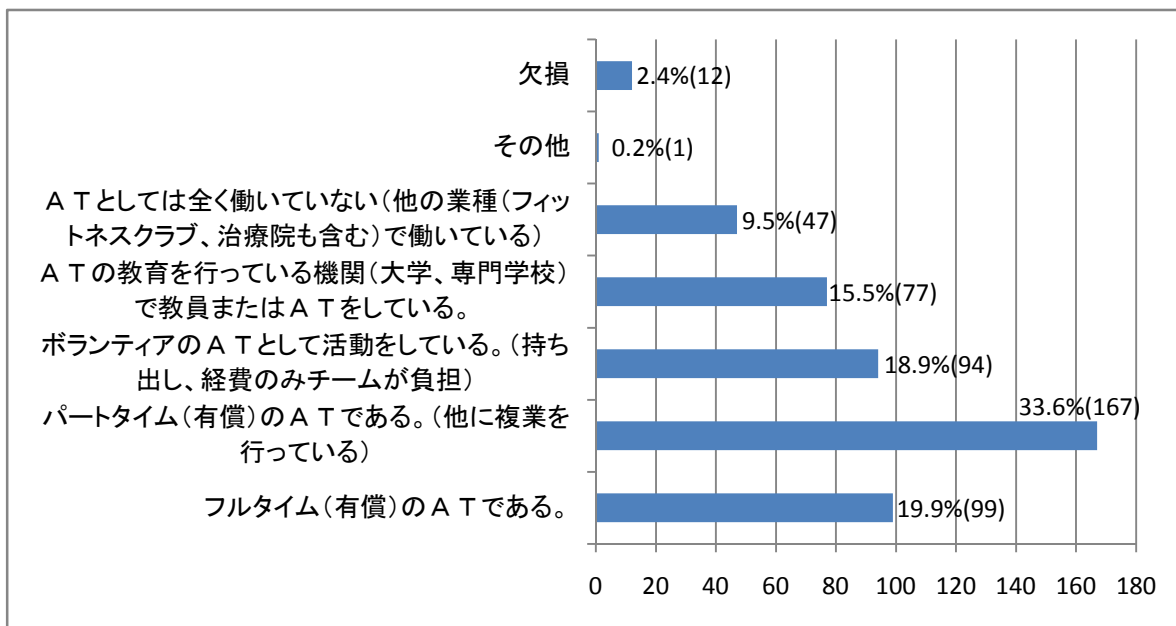
都道府県	居住している都道府県		登録している都道府県		主に活動している都道府県	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
愛知県	35	7.0%	37	7.4%	39	7.8%
愛媛県	4	0.8%	4	0.8%	4	0.8%
茨城県	11	2.2%	10	2.0%	9	1.8%
岡山県	7	1.4%	7	1.4%	6	1.2%
沖縄県	2	0.4%	3	0.6%	2	0.4%
岩手県	3	0.6%	2	0.4%	3	0.6%
岐阜県	5	1.0%	6	1.2%	8	1.6%
宮崎県	5	1.0%	5	1.0%	5	1.0%
宮城県	5	1.0%	5	1.0%	5	1.0%
京都府	10	2.0%	8	1.6%	12	2.4%
熊本県	6	1.2%	7	1.4%	7	1.4%
群馬県	7	1.4%	8	1.6%	8	1.6%
広島県	12	2.4%	11	2.2%	11	2.2%
香川県	3	0.6%	3	0.6%	3	0.6%
高知県	1	0.2%	2	0.4%	1	0.2%
佐賀県	4	0.8%	4	0.8%	4	0.8%
埼玉県	22	4.4%	18	3.6%	13	2.6%
三重県	6	1.2%	4	0.8%	6	1.2%
山形県	4	0.8%	3	0.6%	4	0.8%
山口県	1	0.2%	2	0.4%	1	0.2%
山梨県	1	0.2%	1	0.2%	1	0.2%
滋賀県	9	1.8%	7	1.4%	9	1.8%
鹿児島県	4	0.8%	5	1.0%	4	0.8%
秋田県	2	0.4%	3	0.6%	2	0.4%
新潟県	7	1.4%	6	1.2%	7	1.4%
神奈川県	54	10.9%	44	8.9%	33	6.6%
青森県	3	0.6%	3	0.6%	3	0.6%
静岡県	21	4.2%	20	4.0%	17	3.4%
石川県	1	0.2%	1	0.2%	1	0.2%
千葉県	36	7.2%	29	5.8%	30	6.0%
大阪府	31	6.2%	28	5.6%	36	7.2%
大分県	1	0.2%	1	0.2%	1	0.2%
長崎県	2	0.4%	2	0.4%	2	0.4%
長野県	9	1.8%	7	1.4%	9	1.8%
鳥取県	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%

島根県	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
東京都	67	13.5%	63	12.7%	104	20.9%
徳島県	2	0.4%	2	0.4%	2	0.4%
栃木県	3	0.6%	4	0.8%	4	0.8%
奈良県	3	0.6%	4	0.8%	2	0.4%
富山県	3	0.6%	4	0.8%	3	0.6%
福井県	6	1.2%	7	1.4%	6	1.2%
福岡県	14	2.8%	14	2.8%	14	2.8%
福島県	1	0.2%	1	0.2%	1	0.2%
兵庫県	29	5.8%	23	4.6%	21	4.2%
北海道	14	2.8%	13	2.6%	13	2.6%
和歌山県	3	0.6%	3	0.6%	5	1.0%
その他	4	0.8%	0	0.0%	2	0.4%
海外	2	0.4%	0	0.0%	1	0.2%
不明	0	0.0%	40	8.0%	1	0.2%
欠損	12	2.4%	12	2.4%	12	2.4%
合計	497	100.0%	497	100.0%	497	100.0%

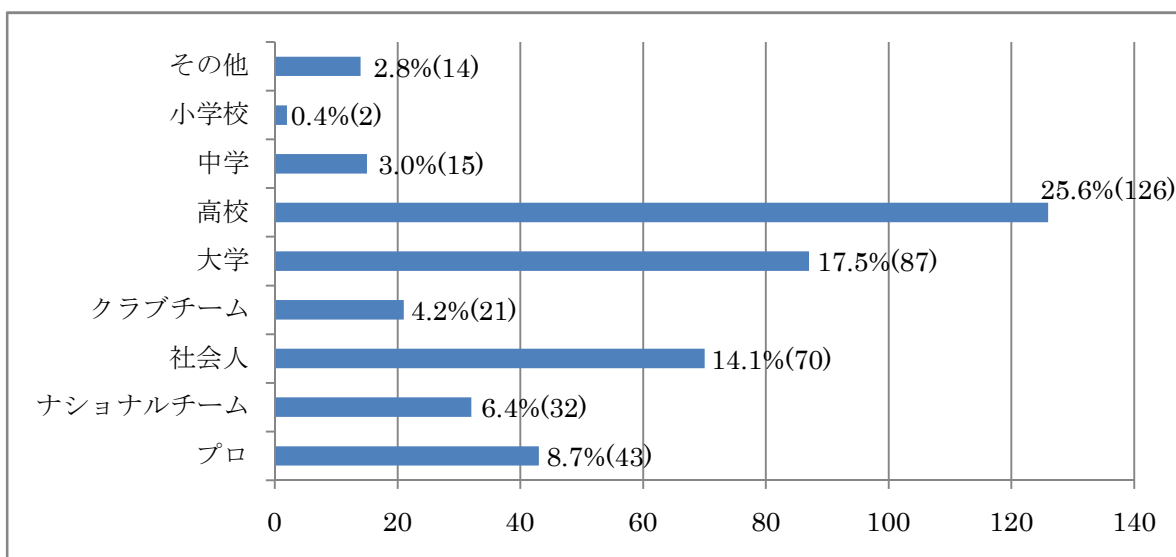
国民体育大会への AT としての帯同経験はありますか？



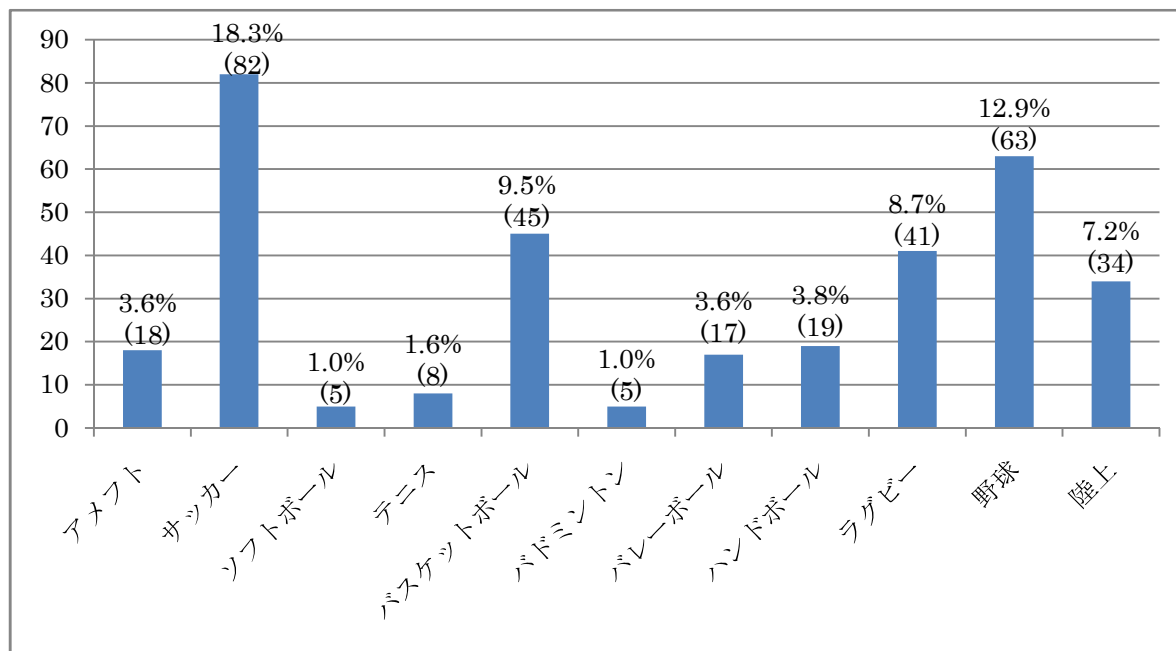
以下の AT としての活動形態のうち、最も近いものはどれですか？



AT 活動を行っている (フルタイム、パートタイム、ボランティア) と選択された方、関わられているスポーツのレベルで最も主たるものを以下から一つ選んでください。

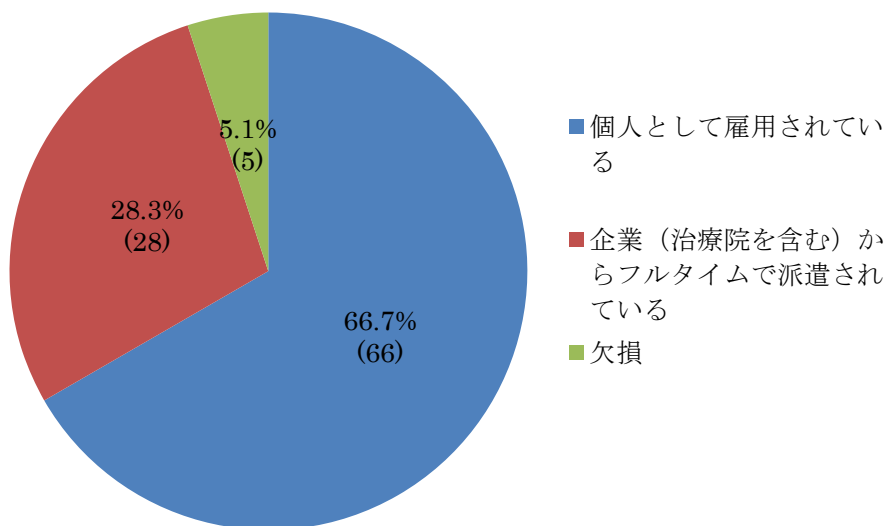


AT として活動されているスポーツを以下に記してください。複数のスポーツで働かれた方は、現在、関わられている時間の長い順に、上位3つをご記入ください。

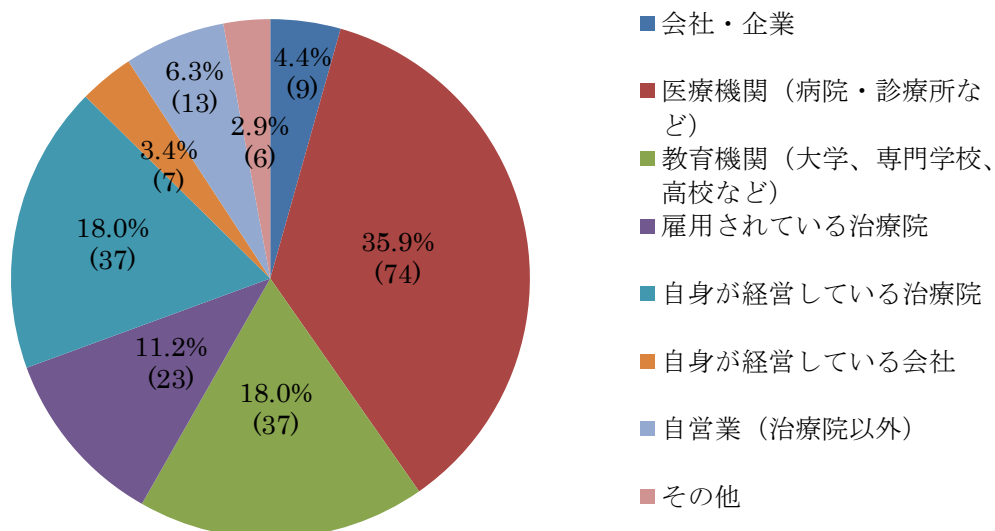


(1%以上を占める第一選択の競技名)

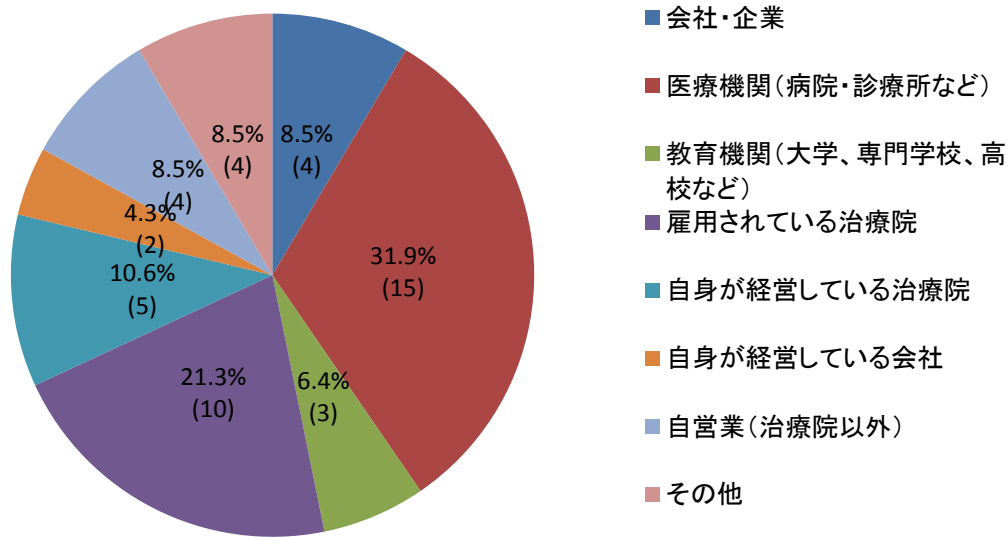
フルタイムのATとして働かれている方、あなたの雇用形態は以下の内どれですか？



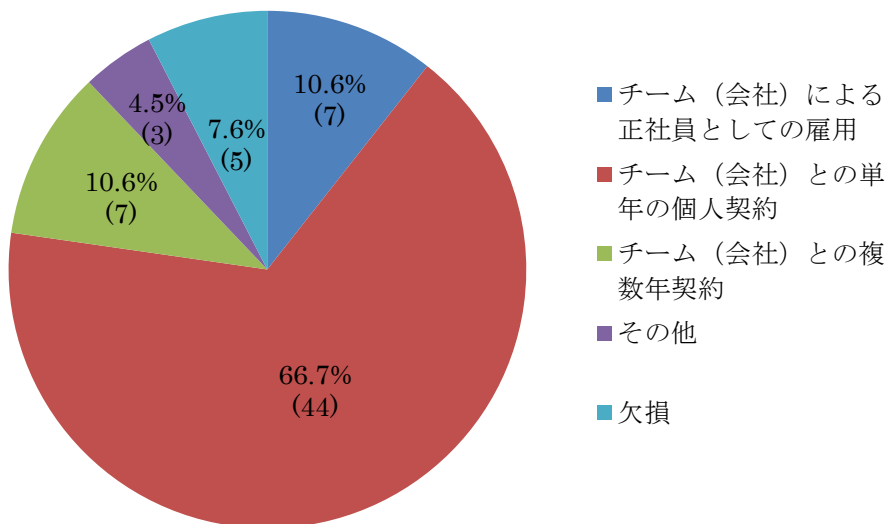
パートタイムのATとして活動をしていない方、あなたの主たる就業先は、以下のうちどれですか？



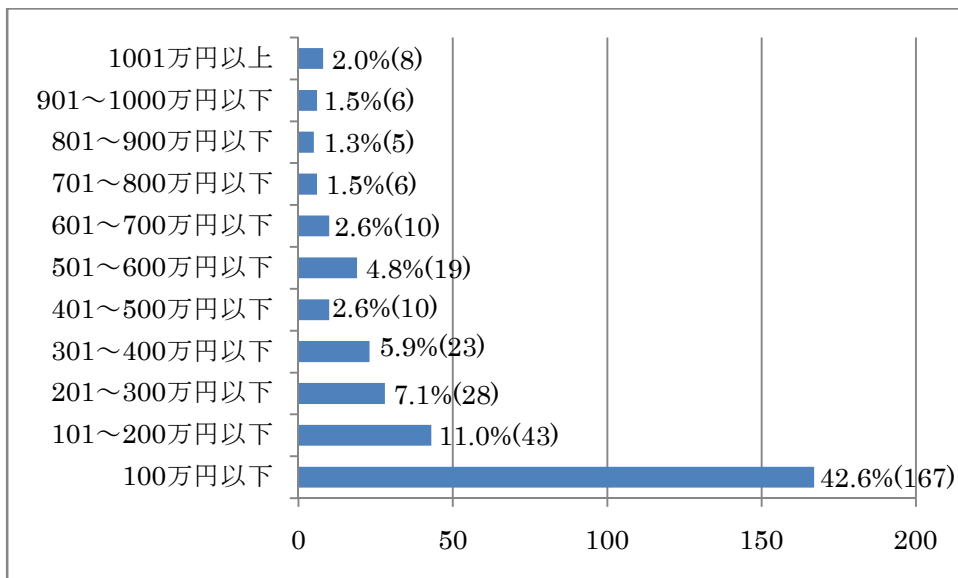
ATとして活動をしていない方、あなたの就業先は、以下のうちどれですか？



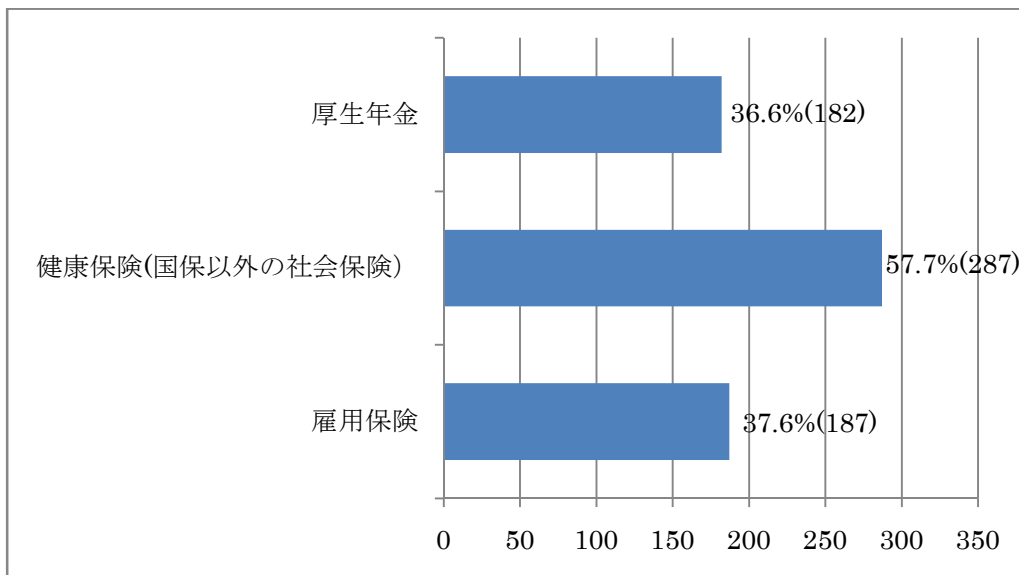
フルタイムのATとして働かれている方で「個人として雇用されている」と答えられた方、その雇用形態は以下のうち、どれですか？



AT 活動による年収（税込の収入）



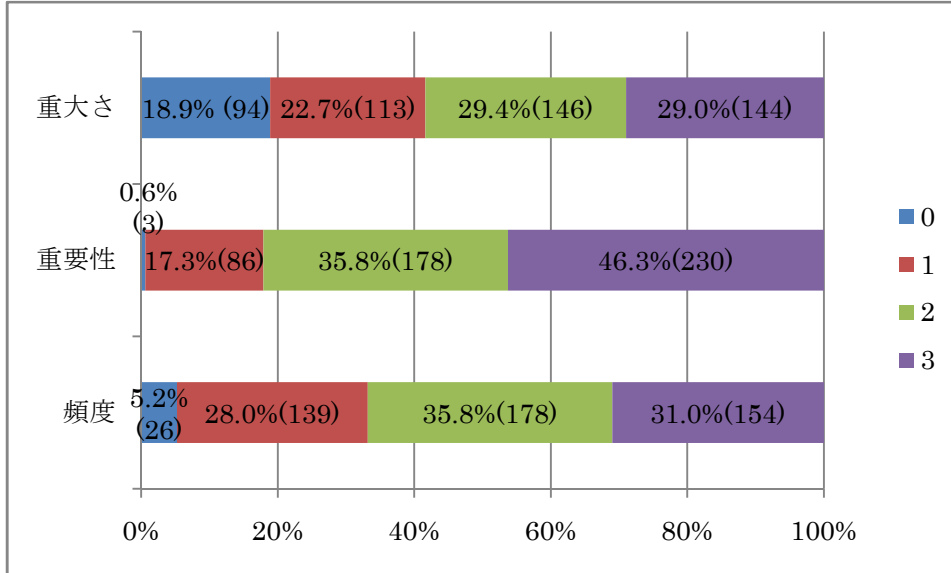
以下の社会保障のうち、現在、入られているものについて印をつけてください。



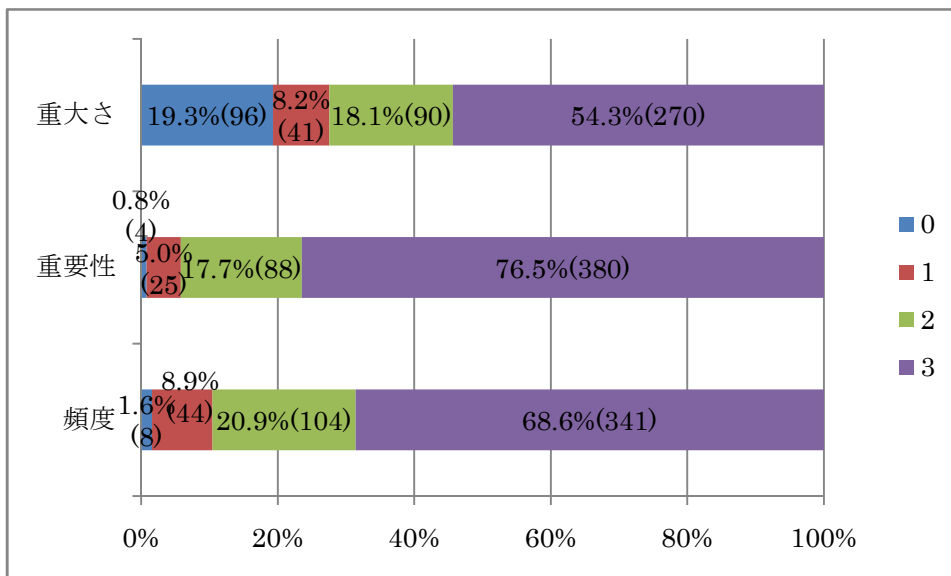
JASA-AT GPA

領域 I-評価

職務 I-1：傷害や疾患の予防のためにスポーツに参加する前に行うスクリーニングや他の関連するスクリーニング（例：食事、身体、心理など）を実施し、競技参加に向けてどの程度準備が出来ているかを一般的ガイドラインに基づいて評価を行う。

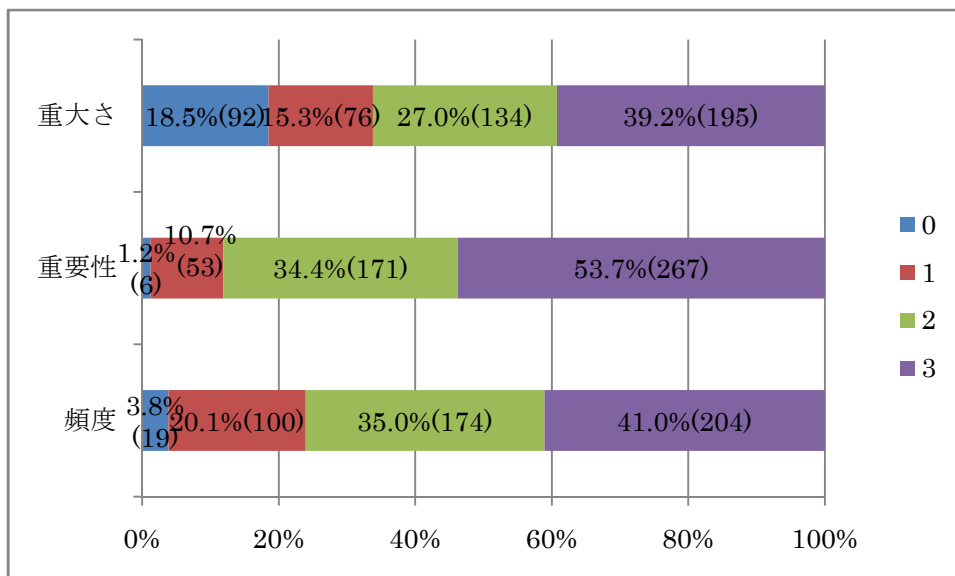


職務 I-2：既往歴や兆候、症状、傷害・疾患の状態、素因などから体系立てて所見を導き出し、適切な行動を計画、実行する。（例：治療、競技復帰など）

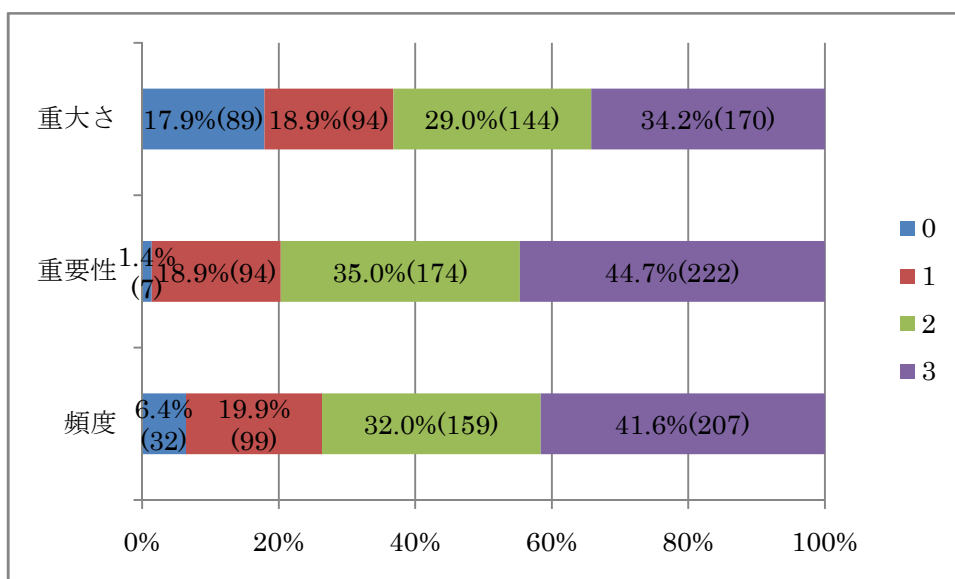


項目	0	1	2	3
重大さ	悪影響は殆どない	ある程度の悪影響がある	大きな悪影響がある	かなりの悪影響がある
重要性	殆ど重要ではない	重要である	非常に重要である	極めて重要である
頻度	めったにない	少ない	たまにある	日常的にある

職務 I-3：一般に認められている方法やガイドラインに基づき、身体活動、施設、防具に関連した安全上の問題を特定し、傷害や疾患の危険性を減らす。

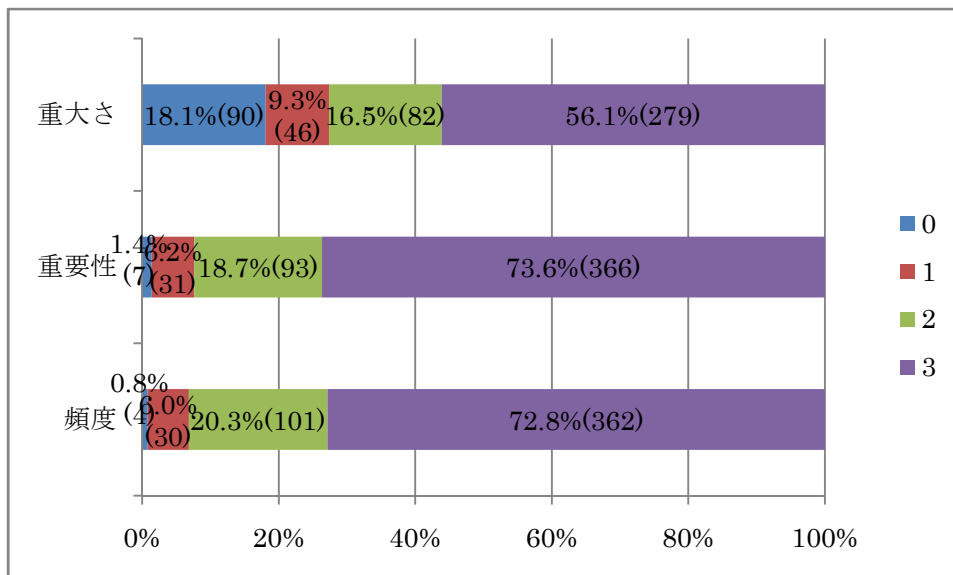


職務 I-4：安全にスポーツ活動が行えるように一般に認められているガイドラインに従って参加者とその環境を監視する。



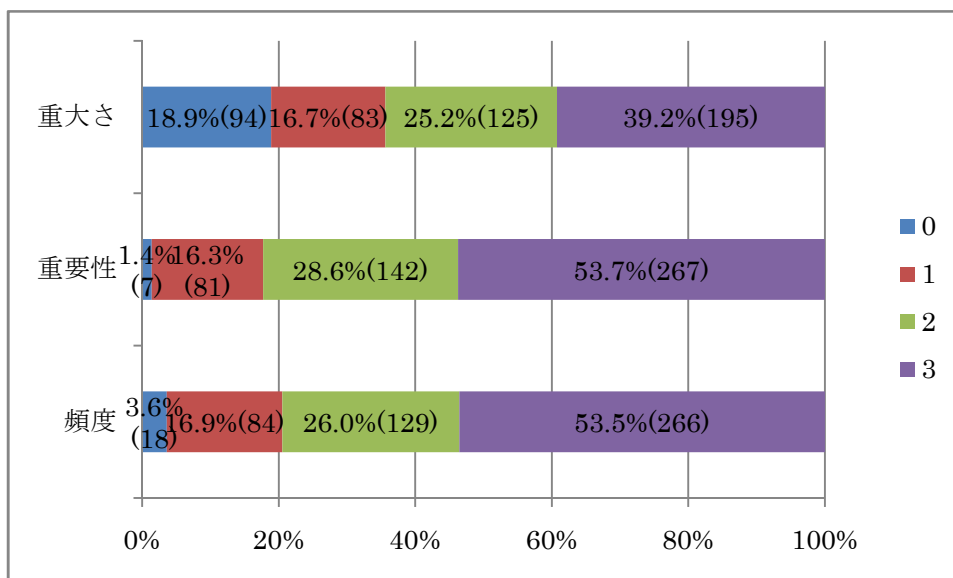
項目	0	1	2	3
重大さ	悪影響は殆どない	ある程度の悪影響がある	大きな悪影響がある	かなりの悪影響がある
重要性	殆ど重要ではない	重要である	非常に重要である	極めて重要である
頻度	めったにない	少ない	たまにある	日常的にある

職務 I-5：標準的な技術を用いて疾患部や受傷部を触診し、評価を行う。



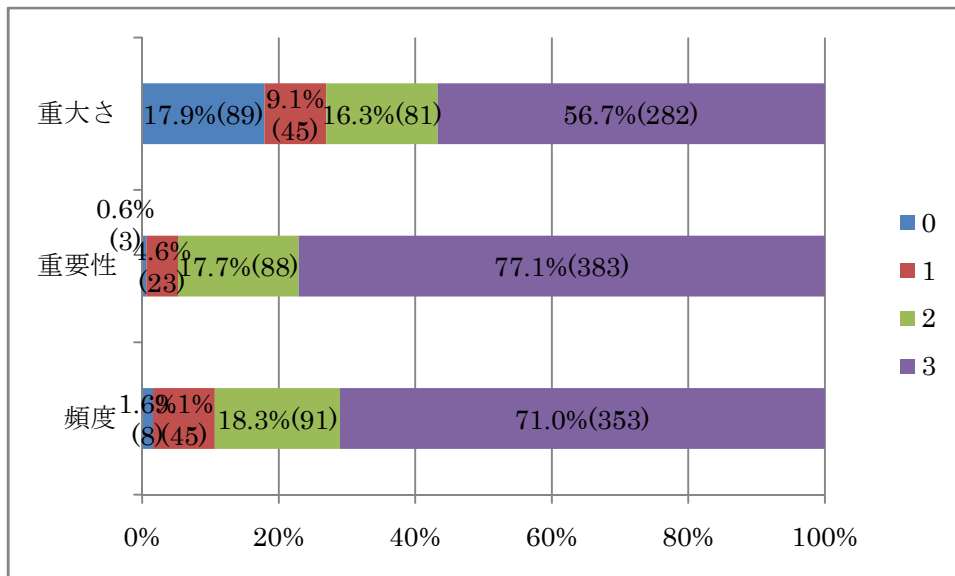
領域 II-介入

職務 II-1：組織の修復の概念、物理療法の使用方法を理解し、回復や機能、パフォーマンスの向上のために活用する。

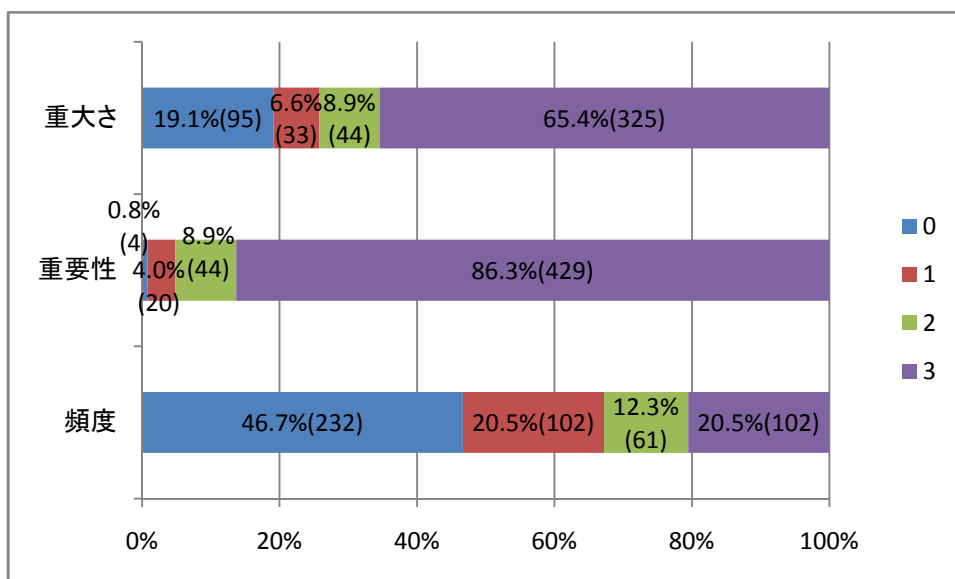


項目	0	1	2	3
重大さ	悪影響は殆どない	ある程度の悪影響がある	大きな悪影響がある	かなりの悪影響がある
重要性	殆ど重要ではない	重要である	非常に重要である	極めて重要である
頻度	めったにない	少ない	たまにある	日常的にある

職務 II-2：回復の促進や機能、パフォーマンスの向上のためのコンディショニング、術前および術後のリハビリテーション、ファンクショナルエクササイズを適切な方法や技術を用いて行う。

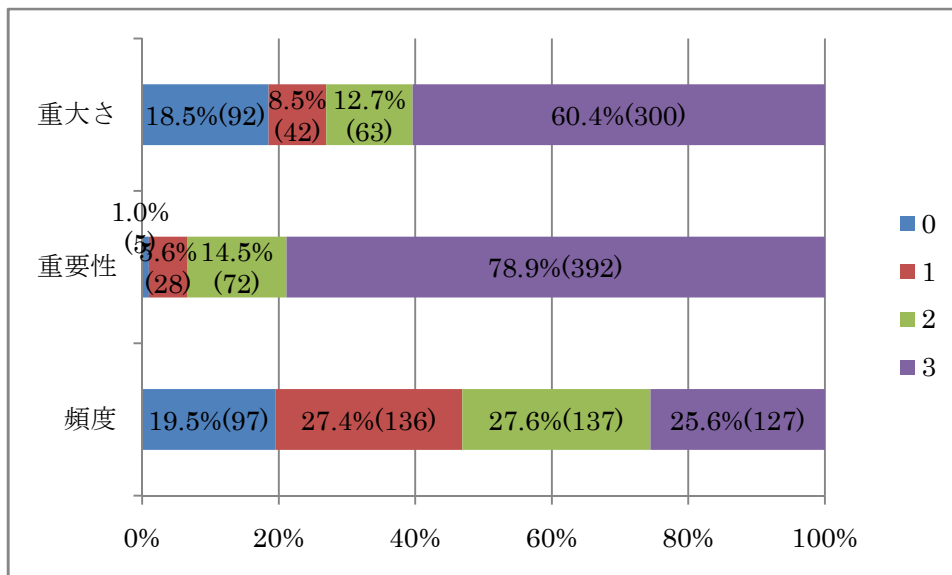


職務 II-3：罹患率や死亡率を低下させるために標準的な救急法に基づいた救急救命技術を使用する。

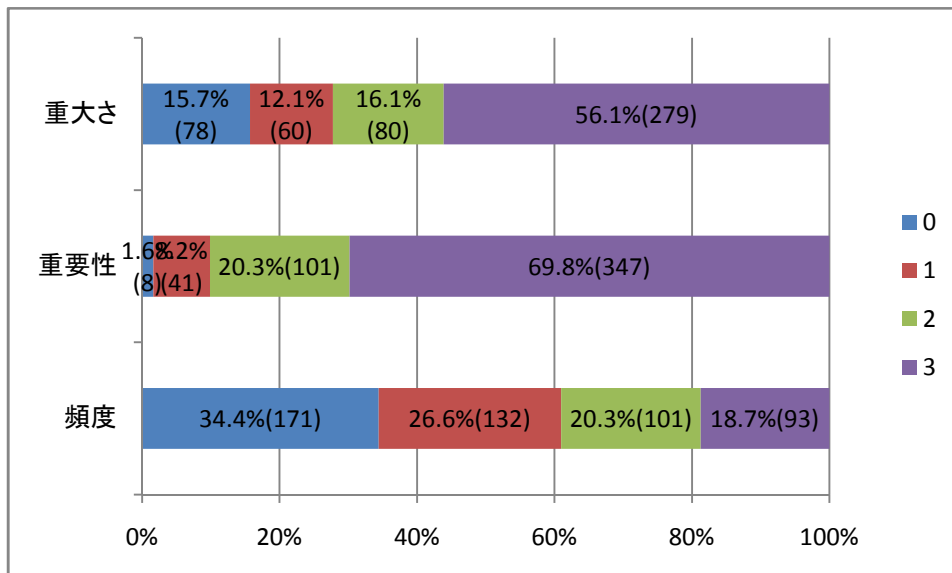


項目	0	1	2	3
重大さ	悪影響は殆どない	ある程度の悪影響がある	大きな悪影響がある	かなりの悪影響がある
重要性	殆ど重要ではない	重要である	非常に重要である	極めて重要である
頻度	めったにない	少ない	たまにある	日常的にある

職務 II-4：標準的な方法を用いて、搬送、移送、安定・固定を行い、受傷者の傷害や組織の損傷を防ぐ。

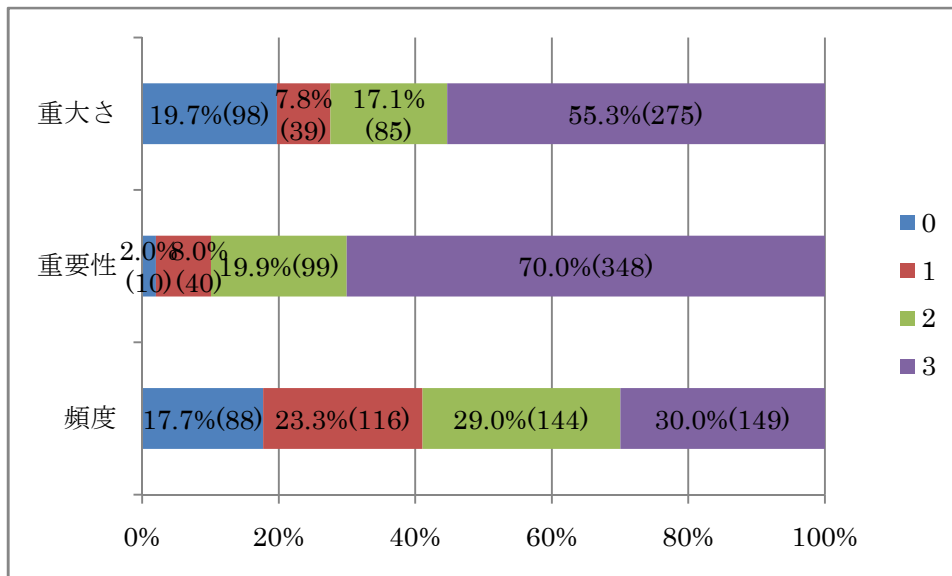


職務 II-5：医療的緊急時において標準的な方法を用いて重症度判定を行い処置の順序を決める。

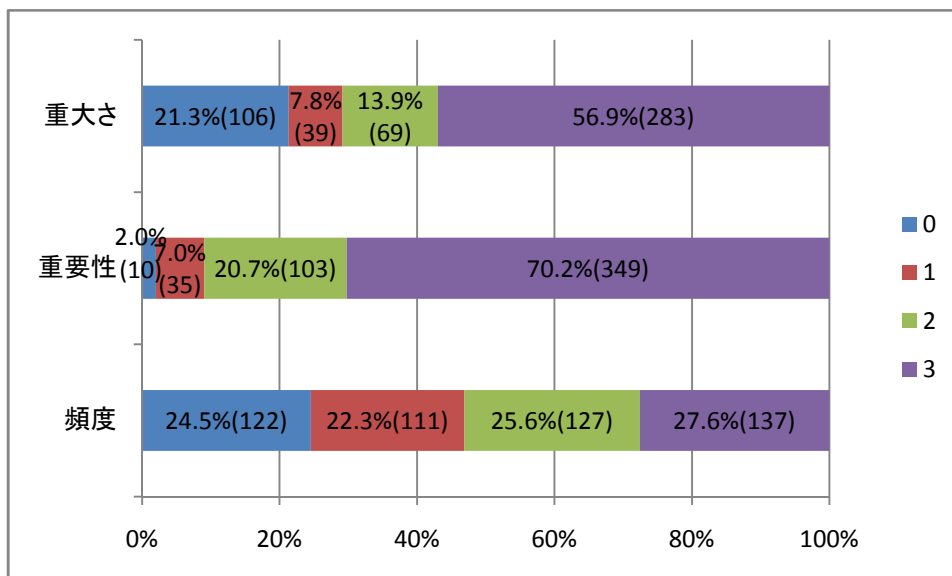


項目	0	1	2	3
重大さ	悪影響は殆どない	ある程度の悪影響がある	大きな悪影響がある	かなりの悪影響がある
重要性	殆ど重要ではない	重要である	非常に重要である	極めて重要である
頻度	めったにない	少ない	たまにある	日常的にある

職務 II-6：回復や、機能、パフォーマンスの向上を目的とする医薬品や栄養補助食品（サプリメント、強壮剤、薬草療法）を利用する場合、世界アンチ・ドーピング機構のガイドラインを順守する。

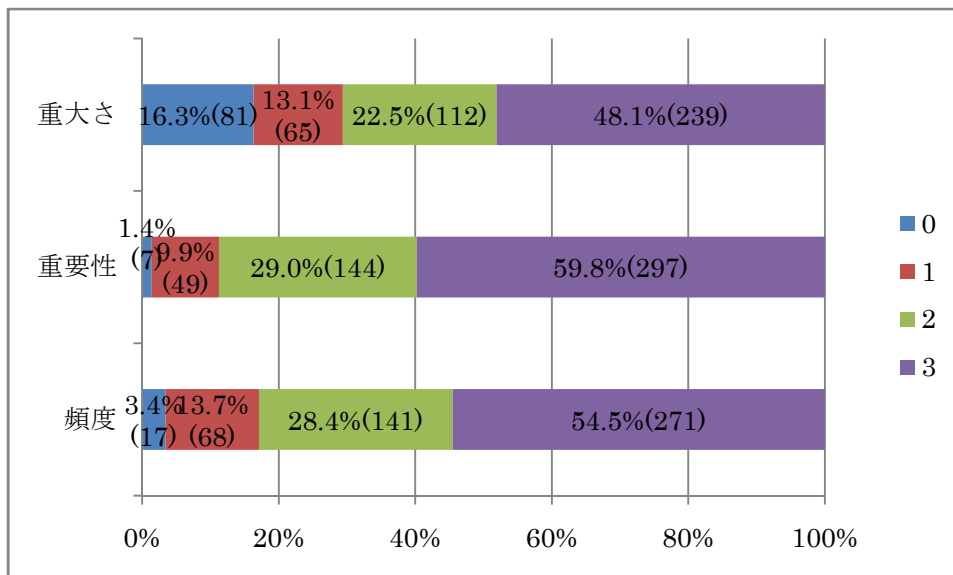


職務 II-7：スポーツ選手の健康を守り、フェアプレーが行われるために世界アンチ・ドーピング機構または各国ドーピングコントロール機構の指示を順守したドーピングコントロールプログラムを推進、実施する。

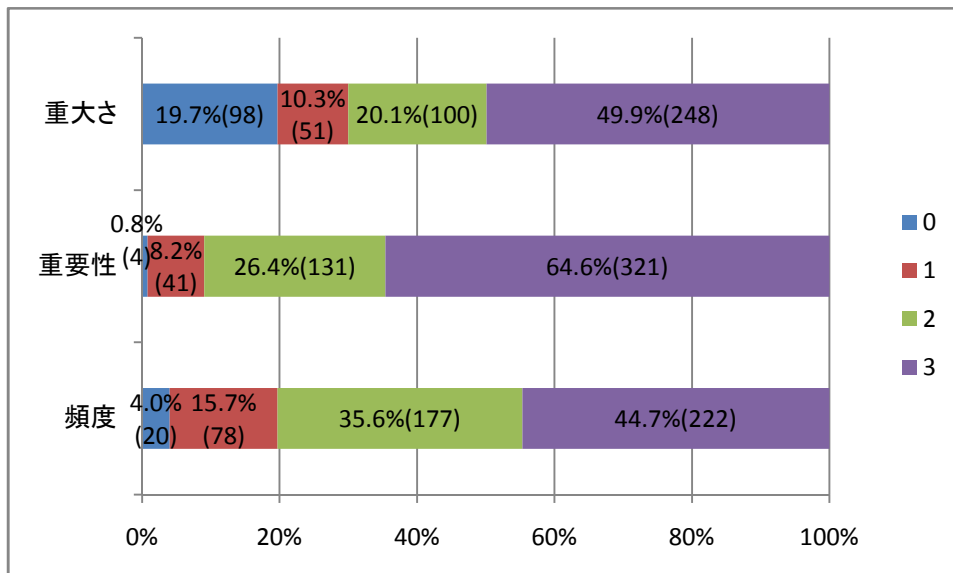


項目	0	1	2	3
重大さ	悪影響は殆どない	ある程度の悪影響がある	大きな悪影響がある	かなりの悪影響がある
重要性	殆ど重要ではない	重要である	非常に重要である	極めて重要である
頻度	めったにない	少ない	たまにある	日常的にある

職務 II-8：テーピングや装具、副木を使用した標準的な手法を用いて傷害を予防する。

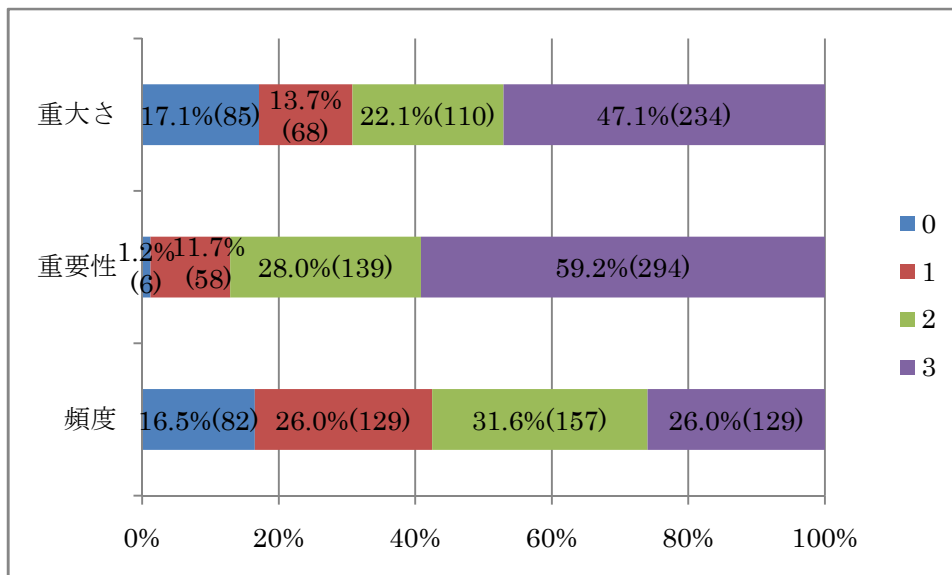


職務 II-9：スポーツ選手が必要な医療サービスを受けられるように適切な専門医へ紹介する。

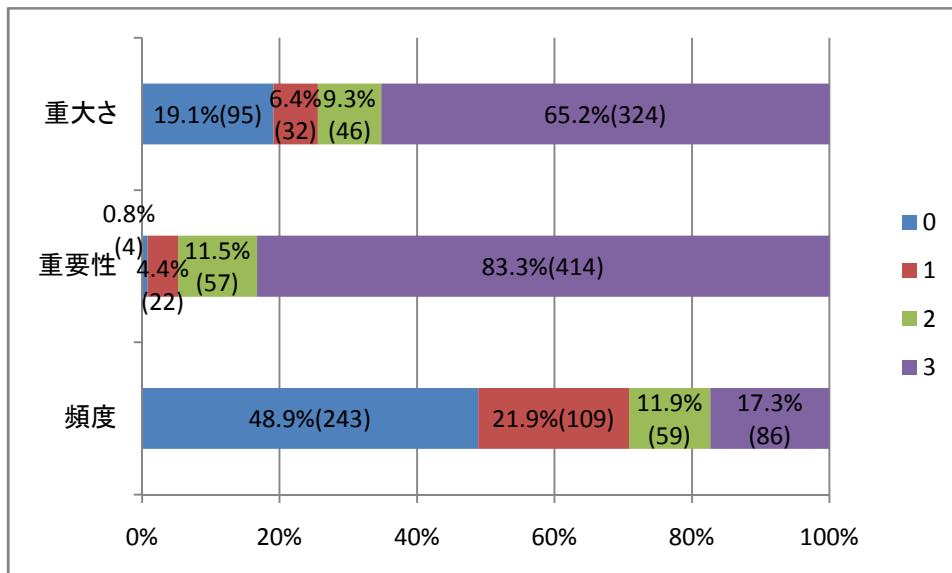


項目	0	1	2	3
重大さ	悪影響は殆どない	ある程度の悪影響がある	大きな悪影響がある	かなりの悪影響がある
重要性	殆ど重要ではない	重要である	非常に重要である	極めて重要である
頻度	めったにない	少ない	たまにある	日常的にある

職務 II-10：選手を傷害や疾患から防ぐためにフィールド外へ搬送する。



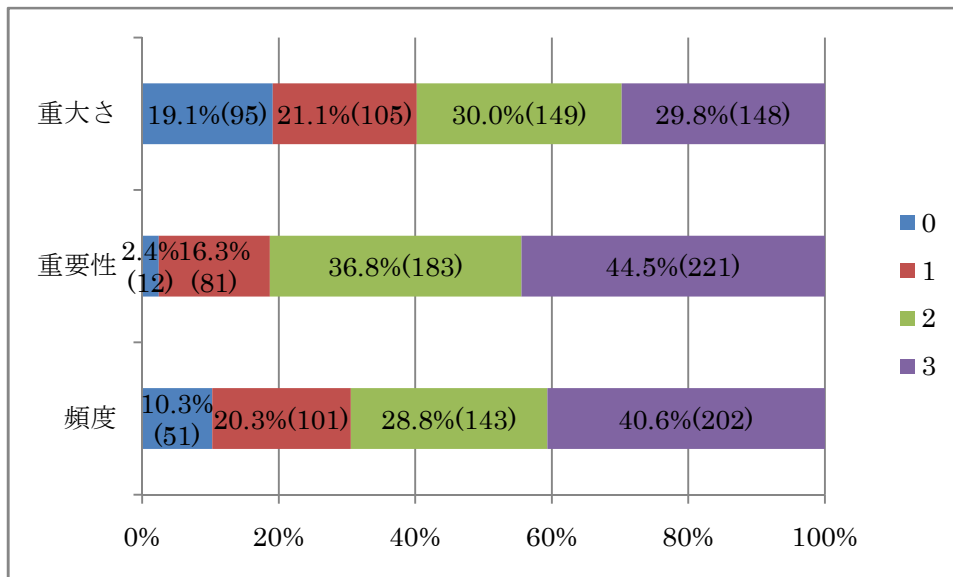
職務 II-11：生命の危機下において緊急医療行動計画を実施し、迅速かつ効率的な患者の保護を行う。



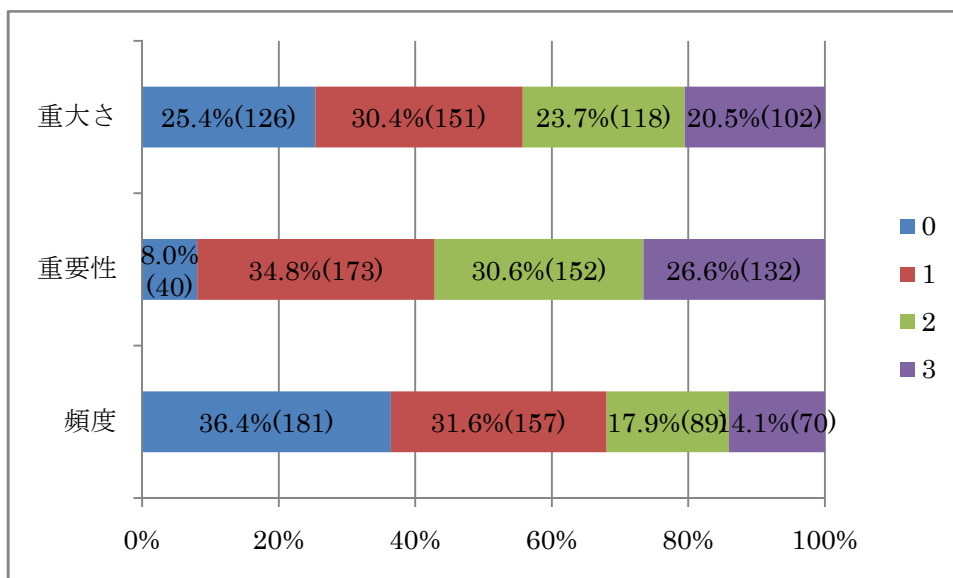
項目	0	1	2	3
重大さ	悪影響は殆どない	ある程度の悪影響がある	大きな悪影響がある	かなりの悪影響がある
重要性	殆ど重要ではない	重要である	非常に重要である	極めて重要である
頻度	めったにない	少ない	たまにある	日常的にある

領域 III－運営

職務 III-1：一般的に認められている最良の方法を用いて、情報管理システムを活用し、医療記録を維持、管理する。

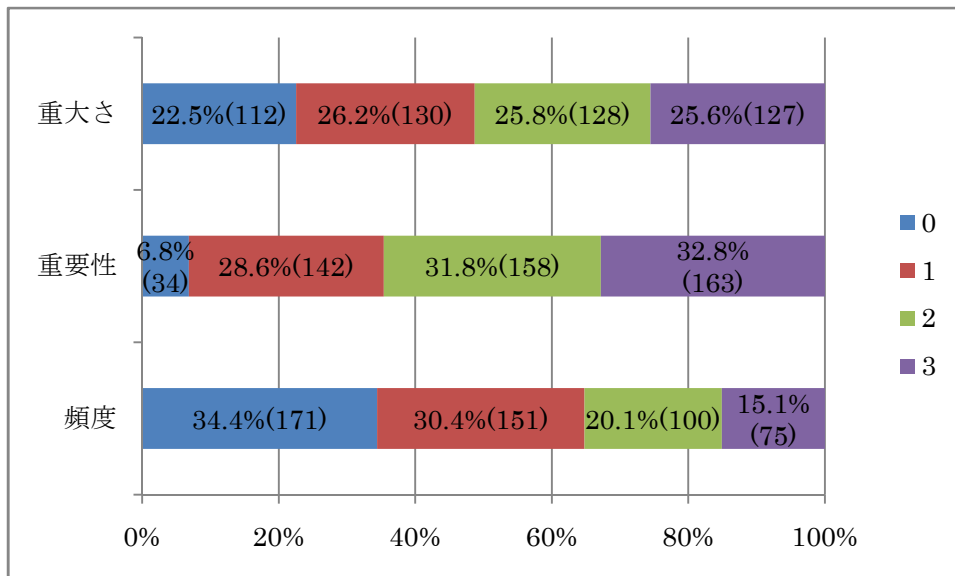


職務 III-2：人為的資源と会計管理システムを活用し、人材の管理、予算の計画と執行業務を行う。

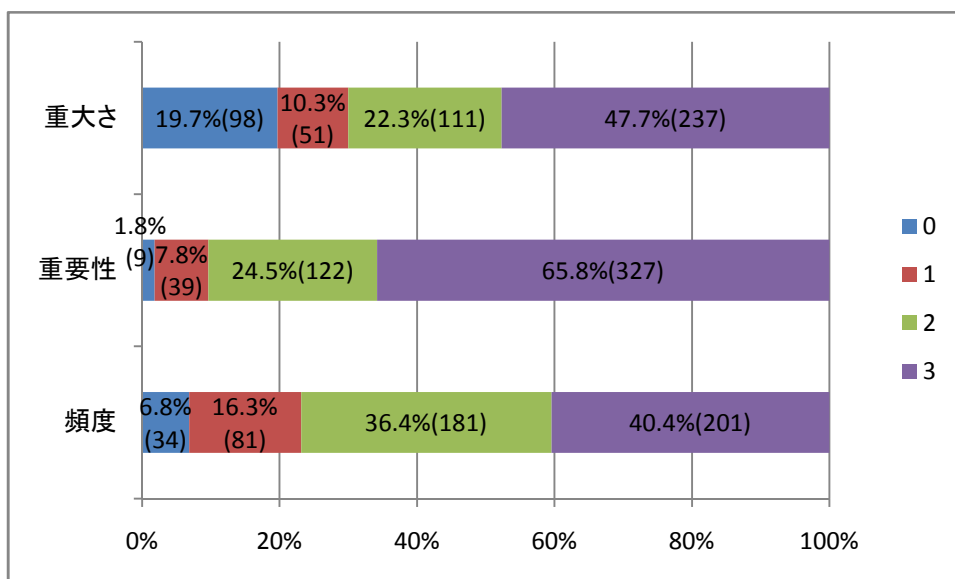


項目	0	1	2	3
重大さ	悪影響は殆どない	ある程度の悪影響がある	大きな悪影響がある	かなりの悪影響がある
重要性	殆ど重要ではない	重要である	非常に重要である	極めて重要である
頻度	めったにない	少ない	たまにある	日常的にある

職務 III-3：環境による傷害リスクの管理、廃棄物の処理、生体有害物質の除去と用具のメンテナンスのために施設管理計画を立案し、実施する。

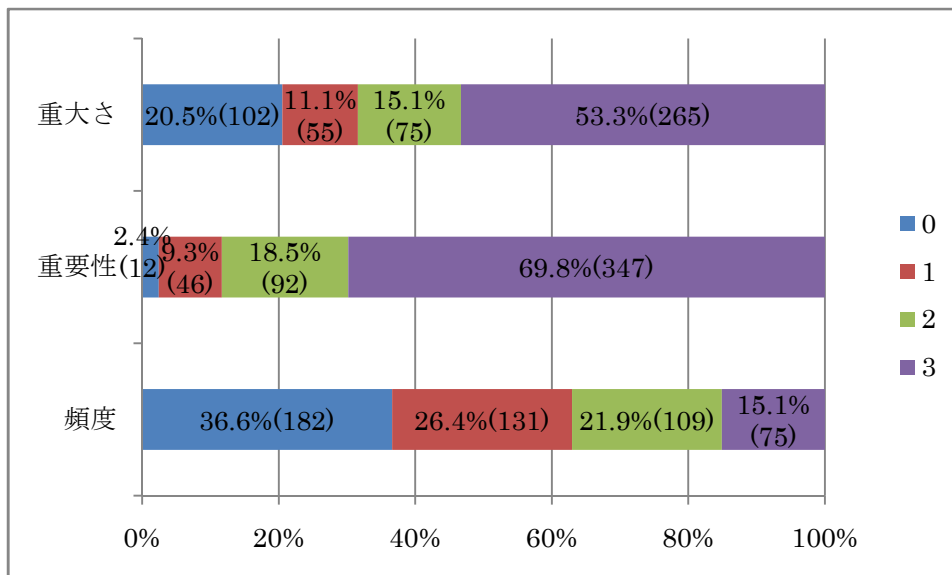


職務 III-4：より高い質の医療提供のために他の専門家とコミュニケーションを行う。



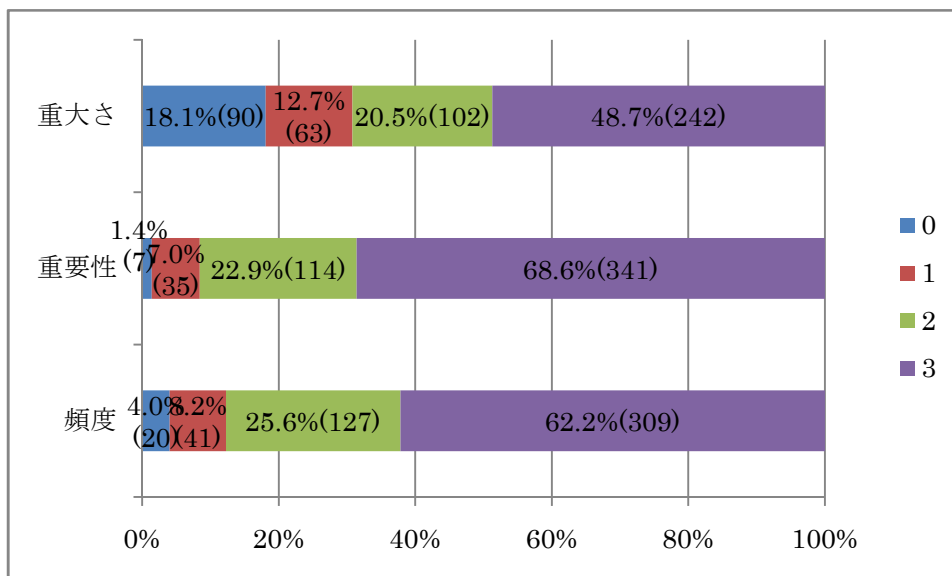
項目	0	1	2	3
重大さ	悪影響は殆どない	ある程度の悪影響がある	大きな悪影響がある	かなりの悪影響がある
重要性	殆ど重要ではない	重要である	非常に重要である	極めて重要である
頻度	めったにない	少ない	たまにある	日常的にある

職務 III-5：生命の危機下でより効果的な患者の保護のため緊急医療行動計画を立案する。



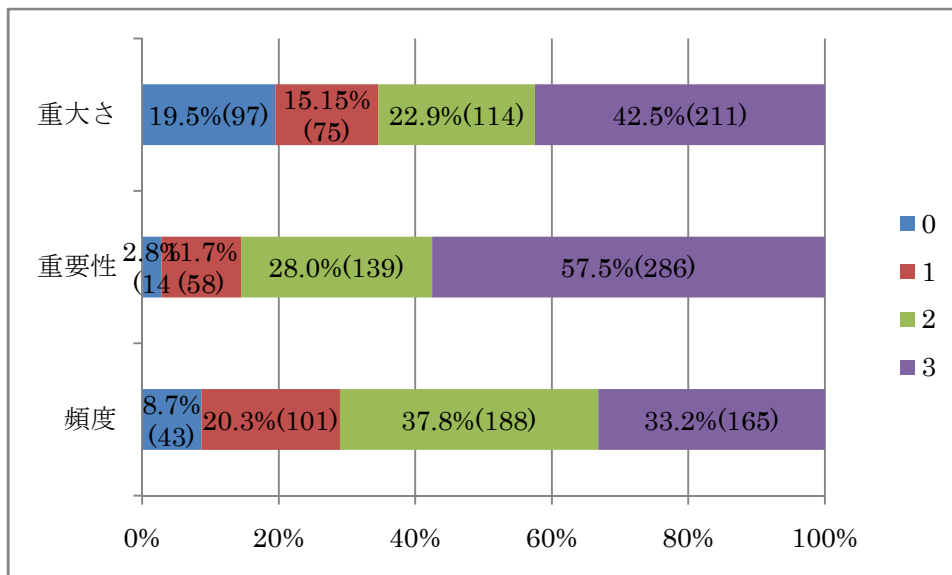
領域 IV－教育

職務 IV-1：身体面のコンディションとライフスタイルの改善のために患者に教育をする。

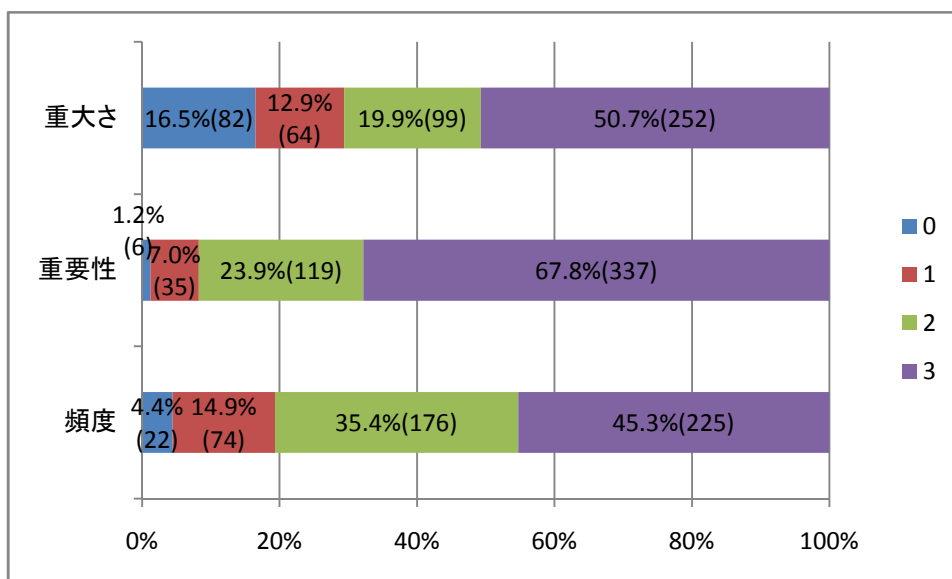


項目	0	1	2	3
重大さ	悪影響は殆どない	ある程度の悪影響がある	大きな悪影響がある	かなりの悪影響がある
重要性	殆ど重要ではない	重要である	非常に重要である	極めて重要である
頻度	めったにない	少ない	たまにある	日常的にある

職務 IV-2：医療現場での能力を維持するために臨床に関する生涯教育活動に参加する。



職務 IV-3：傷害や疾病の危険性を減らすためにスポーツ活動における危険性について、効果的なコミュニケーション技法を用いて、コーチや親、選手など適切な個人に教育をする。



項目	0	1	2	3
重大さ	悪影響は殆どない	ある程度の悪影響がある	大きな悪影響がある	かなりの悪影響がある
重要性	殆ど重要ではない	重要である	非常に重要である	極めて重要である
頻度	めったにない	少ない	たまにある	日常的にある